

令和3年度 神戸市立婦人会館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	<p>【設置目的】 婦人の文化と教養を高め、婦人の社会的地位の向上を図るための施設</p> <p>【施設概要】 (1)所在地: 神戸市中央区橋通3丁目4番1号 (2)開館時期: 昭和32年4月(婦人の学習活動の拠点として開館) (3)竣工: 昭和44年11月4日(耐震補強・老朽設備改修 平成29年1月16日) (4)構造: 鉄筋コンクリート造5階建(神戸市立総合福祉センターの4階・5階の一部) (5)敷地面積: 4,579.97㎡(総合福祉センター) (6)延床面積: 1,474㎡(総合福祉センターの4階・5階の一部) 5階: 事務室、大会議室(1)、小会議室(3)、音楽室、多目的室、IT研修室、衣服工房室、倉庫(4) 4階: 中会議室(2)、小会議室(3)、保育ルーム</p>
(2)指定管理者	神戸市立婦人会館管理運営共同事業体 (神戸市婦人団体協議会、特定非営利活動法人輝支援センター神戸)
(3)指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額 17,328,055円 決算額 17,328,055円

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	3年度の状況
①施設の維持管理業務	緊急事態を想定した総合福祉センターの合同防災訓練(2回/年)に参加した。
②施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月25日～令和3年5月11日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館。その他の期間も、夜間の利用停止、収容人数50%以内など、複数回にわたる利用制限を行った。 会議室の使用許可及びその使用制限、使用料の徴収・減免等について、神戸市立婦人会館条例並びに同施行規則等の規定に基づき業務を適正に実施 メインの担当職員が2年度末に辞めて以降欠員が続き、他の職員が分担して対応していたが、令和4年1月に新規採用し、以降は適正な人員となった。
③その他の業務	ホームページや広報紙KOBEにより、施設情報やあじさい講座の開催情報を発信するとともに、会館のパンフレットもリニューアルした。 来館者向けに貸会議室で利用可能なフリーWi-Fiを整備した。
(2)利用状況	3年度の状況
①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 貸会議室利用件数: 3,495件(対前年度比29.9%増 対元年度比32.8%減) 2年度2,691件、元年度5,203件 貸会議室利用人数: 37,369人(対前年度比35.5%増 対元年度比46.8%減) 2年度27,571人、元年度70,234人 貸会議室利用率 35.3%(午前34%、午後54.7%、夜間10.4%) 2年度 31.2%(午前26.7%、午後50.3%、夜間11.0%) 元年度 56.8%(午前58.3%、午後74.4%、夜間28.2%)
②その他利用状況	<p>(1)自主事業について 婦人の文化と教養を高める講座として、元気で100年いきいき講座、パソコン教室、ママのための美ヨガ、おやこえいご、市民救命士養成講座など、実用的で多種多様な講座を実施した。事業計画では各回10人を想定。常に5人を下回っている講座の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民踊(火): 平均受講者数5.2人 12月から廃止 簡単手結び着付け: 平均受講者数3.7人 10月から廃止 書道教室: 平均受講者数0人(コロナで未開講) 廃止 ママのための美ヨガ: 平均受講者数3.6人 8月から廃止 ママとベビーのヨガ: 平均受講者数2.0人 8月から廃止 音楽で脳トレ: 平均受講者数3.1人 9月から廃止 <p>講座開催数 (R1)928単位→(R2)588単位→(R3)723単位 受講者数 (R1)10,704人→(R2)5,162人→(R3)6,867人</p> <p>(2)相談活動について 事業計画では相談窓口を設け、消費相談、子育ての悩みや介護サービスの問い合わせ等、多様な相談活動を行うとしているが、相談体制を確保できておらず、相談窓口も周知していないため、相談活動は実施できていない。</p>
(3)収支状況	3年度の状況
①使用料または利用料金収入	使用料収入: 3年度4,467,420円(対前年度比 32.2%増)、 2年度 3,380,340円
②指定管理者の収支状況	指定管理事業 収入 17,328,055円 支出 17,430,480円(▲102,425円) 自主事業 収入 5,772,200円 支出 3,574,491円(+2,197,709円)
(4)その他	3年度の状況
①行動指針に対する対応	高齢者の自立支援や介護予防のための自主講座などにより、学習機会を提供した。

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	会館の利用率75%	・利用率34.7%(達成率47.7%)
②収入目標額		

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	<p>調査方法: 来館者へのアンケート調査 調査期間: 令和4年1月10日～3月22日 配布数等: 配布数130枚、回収数106枚、回収率: 81.5%(令和2年度 配布数950枚) ※これまで会議室利用者全てに配布していたが、3年度より利用申込手続で窓口に来た方だけに配布することに変更した。 質問項目: 住所、性別、年代、利用頻度、施設の利便性、婦人会館HPの利用状況、職員の対応、キャッシュレス決済について、その他意見・要望</p>

②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会館を選んだ理由:交通の便が良い28%、会場使用料が安い22%、開館時間が長く便利2%、予約がしやすい10%、定員数が大中小ある11%、施設がきれい12%、使い慣れている10%、その他5% ・職員の対応(平均):とても良い36.6%、良い36.1%、普通21.5%、やや悪い1.7%、悪い0%、無回答4.2% (令和2年度職員の対応:大変満足14%、やや満足19%、普通40%、やや不満3%、不満1%、無回答23%)
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターが古い(2年度からの要望) →新しいものを買替えを行った。 ・午前・午後を通して利用する場合に貸室内で昼食を取りたい。(コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた) →令和4年9月から申請すれば許可する予定。 ・机の移動を可能にしてほしい。(コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた) →令和3年10月に制限を解除しているが、利用者に伝わっていなかった ・Wi-Fiが使用できるようになれば利用しやすい。 →貸室会議室内で利用できるWi-Fiを完備した。 ・キャッシュレス決済ができるようにしてほしい。 →4年度中に対応できるよう準備を進めている。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ○AA ●A ○B ○C
所見	<p>施設の管理運営は概ね適正に行われている。また、昨年度課題として挙がっていた自主事業の見直し、備品の更新なども行い、利用者からの満足度も高い。 その一方、以下の課題があり、改善を図られたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターと機能や役割が類似している。婦人会館と男女共同参画センターを共存させるのなら、施設の役割の違いが明確になるような、前向きな検討をされたい。 ・施設名称を直ちに変更するのが難しいのであれば、例えば10年など期限を決めるなど、時限を定め市として結論を出すべき。 ・相談事業が行なわれていないが、婦人会館としては必要な業務である。相談業務のあり方は、市としても検討すべき課題である。 ・SNSを積極的に活用し、新規利用者の開拓など、若年層も含めた幅広い層へ、外向きにアピールする工夫が必要である。 ・立地の良さを生かし、もっと新規受講者を増やせるような自主事業の開発を。 ・利用者アンケートの取り方を工夫し、幅広い層からの意見を聴取すべき。

令和3年度 デザイン・クリエイティブセンター神戸の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	<p>■設置目的 デザイン、アートその他の創造的な活動を通じて社会に貢献する人材について育成や集積を行い、及びこれらの人材や他の人々との間において交流や連携を図ることにより、市民生活の質を向上し、及び経済活動の活性化を図ること。</p> <p>■施設内容 多目的ホール(1階)、ギャラリー(1, 2階)、セミナー・ワークショップスペース(1, 3階)、創造的活動・社会貢献活動の交流拠点(3階)、クリエイティブラボ(2, 3, 4階)</p>
(2)指定管理者	デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	<p>・協定締結指定管理料 113,000,000円(うち、修繕費 3,000,000円)</p> <p>・決算額 117,584,002円 (指定管理料113,000,000円、コロナの影響によるレンタルキャンセル料補填3,189,202円、追加修繕費1,394,800円含む)</p> <p>・にぎわい交流空間創出業務委託料 18,000,000円</p>

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		3年度の状況
①施設の維持管理業務	<p>■建物・設備の保守点検 空調・電気・衛生・昇降機・建築・防火防犯設備等の定期点検</p> <p>■建物・設備劣化の改修等 空調機修繕／換気ファン修理／給湯ユニット更新等</p> <p>■清掃業務・保安警備業務 日常清掃／定期清掃／機械警備／巡回警備</p>	
②施設の運営業務	<p>・クリエイティブラボやレンタルスペースの運営を行い、利用者に対して使用許可等の手続き等を実施した。</p> <p>【新型コロナウイルスの影響】</p> <p>・4月5日～4月24日 開館時間を9時～20時へ短縮</p> <p>・4月25日～5月11日 臨時休館 <緊急事態宣言></p> <p>・5月12日～5月31日 開館時間を9時～17時へ短縮</p> <p>・6月1日～7月11日 開館時間を9時～20時へ短縮</p> <p>・7月12日～8月1日 開館時間を9時～20時30分へ短縮</p> <p>・8月2日～9月30日 開館時間を9時～20時へ短縮</p>	
③その他の業務	<p>■広報関連データ</p> <p><HP>ユーザー数 239,162人、ページビュー数 732,818回</p> <p><Instagram>フォロワー数 4,940人(前年3,377人)、SNSからの集客数 2,188人</p> <p><Twitter>フォロワー数 2,911人(前年2,715人)、SNSからの集客数 3,013人</p> <p><Facebook>登録者数 11,169人(前年10,985人)、SNSからの集客数 10,975人</p>	
(2)利用状況		3年度の状況
①施設利用状況	<p>■来館者数 92,877人(前年度61,550人、前年比51%増)</p> <p>・クリエイティブラボ入室状況 貸室数:38/38室 ※令和3年度末時点 年間入居率:94.8%(入居面積/貸付可能面積) 前年度95.1% ※308号室は除く。 ※令和3年8月より、新設ラボ3室を追加。</p> <p>・レンタルスペース稼働率(自主事業含む)<利用時間数/開館時間数></p> <p>①多目的ホール 56.0%(前年度22.2%)</p> <p>②ギャラリー 46.4%(前年度39.0%)</p> <p>③セミナー・ワークショップスペース 26.5%(前年度18.6%)</p> <p>■300利用件数等</p> <p>(1)300スペースの利用件数(R3.10月～R4.3月) ※自主事業での利用件数は除く ファーム 69件、キャンプ 16件、その他 14件</p> <p>(2)KIITO:300キャンプ常設プログラム利用者数(R3.10月～R4.3月) 493人</p> <p>(3)(1)のキャンプ利用の利用者数 375名</p> <p>(4)キャンパー登録者数(R4.3月末時点) 116人</p> <p>■300社会貢献活動の支援件数(R3.4月～R4.3月)</p> <p>・学生プロジェクトの企画、伴走支援件数 11件</p> <p>・相談対応件数 29件</p> <p>・プロボノ事業の実施件数 6件</p>	
②その他利用状況	<p>・カフェ(1階) 利用人数:7,266人 前年度5,668人 (令和3年4月25日から5月11日まで感染症対策のため臨時休業)</p>	
(3)収支状況		3年度の状況
①使用料または利用料金収入	<p>■利用料金収入 85,309,949円 (内訳)ラボ 42,715,724円、レンタルスペース他 33,828,125円(コロナによるキャンセル料補填3,189,202円含む)、 駐車場 8,766,100円)</p>	
②指定管理者の収支状況	<p>■収支差額 13,992,280円 前年度 10,677,455円</p> <p>・収入総額 205,783,336円 前年度 190,888,612円</p> <p>・支出総額 191,791,056円 前年度 180,211,157円</p>	
(4)その他		3年度の状況
①上記以外の項目で、当該施設特有の項目	別紙【補足評価票】参照	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数 89,720人 ラボスペース稼働率 85.5% レンタル稼働率(自主事業を含まない) 多目的ホール 4.5% ギャラリー 12.0% セミナー・ワークショップスペース 7.0% 	92,877人 94.8% (自主事業を含まない) 参考:自主事業を含む稼働率 41.3% 56.0% 11.8% 46.4% 21.0% 26.5%
②収入	66,450,000円(指定管理料除く)	92,783,336円 (前年度 68,977,762円)

4. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画事業参加者アンケート 698人、回収率52.8%(令和2年度:803人、回収率28.0%) 施設利用に関するアンケート 234人(令和2年度は実施なし) レンタルスペース利用者アンケート 119件(令和2年度:26件) クリエイティブラボ入居者アンケート 入居団体35中34件の回答(令和2年度は実施なし)
②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> ■企画事業参加者アンケート <ul style="list-style-type: none"> KIITO主催のイベントへの参加は。初めて40% 2回目19% 3回目10% 4回目以上31% プログラムに満足したか。よかった77% まあまあよかった18% あまりよくなかった1% よくなかった0% 無回答4% ■施設利用に関するアンケート <ul style="list-style-type: none"> センターへのアクセスに関する意見、要望 <ul style="list-style-type: none"> このままでよい52% 来館者用の駐車場を増やしてほしい19% バスの本数を増やしてほしい10% イベント案内のマップをわかりやすくしてほしい9% 市内の案内(看板)をわかりやすくしてほしい6% その他2% 無回答2% 総合的な施設の満足度 <ul style="list-style-type: none"> よかった72% まあまあよかった23% どちらでもない1% よくなかった、あまりよくなかった0% 無回答4% ■レンタルスペース利用アンケート <ul style="list-style-type: none"> 利用された感想・評価 <ul style="list-style-type: none"> 非常に良い89.6% まあまあ良い9.6% 普通0.8% あまり良くない0% 悪い0% その理由(複数回答あり) ※施設を利用した感想の回答理由 <ul style="list-style-type: none"> 建物の雰囲気91.4% 利用料金40.5% 備品の品揃え30.2% その他5.4% ■クリエイティブラボ入居者アンケート <ul style="list-style-type: none"> センターの施設全体の満足度 <ul style="list-style-type: none"> 満足44.1% やや満足32.4% 普通17.6% やや不満、不満5.9%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> レンタルスペース利用者アンケートにおける「館内の案内をわかりやすくしてほしい」という要望に対しては、プロパティマネジメント部門と企画事業部門を横断した体制で館内サインの見直しと整備を継続的に行っている。 クリエイティブラボアンケートにおける共用部の清潔度向上に対する要望に対しては、特別清掃を入れるなどで清潔保持に努めている。 カフェを含む館内の携帯電話電波状況改善に関する要望については、キャリア3社に調査を依頼し、機器設置などを依頼して改善に努めている。 施設利用者アンケートにおいては総合的な施設の満足度は高い結果だが、センターへのアクセスに関する意見、要望で19%が「来館者用の駐車場を増やして欲しい」と回答しており、駐車場の課題改善に向け、神戸市と継続的に協議を行っている。 企画事業部門でのイベント等への参加者に対するアンケートは、集計後にセンター長以下スタッフ全員で結果を共有し、より満足度の高い進行と運営を目指している。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に類似施設がない中、独自の取り組みを行っていることは大いに評価できる。 また、令和3年度に開設したKIITO:300については、コロナ禍という厳しい状況での開設にもかかわらず積極的に企画・運営ができている。 一方、一般市民の認知度が低いことが課題であるため、今後、事業のアウトリーチや、市民にKIITOのスペースを使用してもらえるような仕掛け作りなどを検討していただきたい。あわせて、HPIについても、初見の方にもわかりやすい内容になるよう工夫していただきたい。 全体の管理体制の見直しや会計監査の実施を検討するとともに、組織構成についてはHP等で対外的にもわかるようにしていただきたい。また、共同事業体として、企画部門と施設管理部門のポテンシャルを活かし、施設利用者の満足度を上げ、価値を生み出すようなスペースの活用方法と併せて収入改善に向けての取り組みを進めていただきたい。

関連データの掲載箇所 (評価票本体)	評価項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の意見
2管理運営内容 (2)利用状況 ①施設利用状況	※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。	KIITO:300開設に向けては、新しい活動や空間に対して期待感を醸成するため、期首から複数回の説明会やリレートを開催した。また、開設を記念した一連のオープニングプログラムを通し、活動や展望を共有しながら、開設についての周知も行った。開設にあわせて、社会貢献活動の拠点としての周知のために市内全NPOに開設告知と利用に関する案内を発送した。開設後には、来館者に対して受付スタッフが案内を行うことで積極的な周知を図った。こどもの創造的学びの推進、及び社会貢献活動での主に団体の利用に関しては、登録制ではなく、申請いただいた利用目的や参加対象をきちんと確認した上で、設置目的に合う利用の集積を図った。また、所轄部署が関わる助成採択事業団体(こどもの創造性を育む団体活動助成、協働と参画の推進助成)等に利用を案内することで、各団体間の活動における交流等にも寄与した。	・令和3年9月のKIITO:300開設前からの周知やイベントの開催等を行うことが、利用者の期待感の醸成や、交流拠点としての認知、利用向上につながった。 ・開設後は、関連団体へ積極的に周知を行った結果、助成採択事業団体、KIITO入居団体、神戸市等に積極的に利用され、施設の認知アップに寄与している。 ・開設2年目となる令和4年度は、利用団体の拡充、多様な活動を実施する団体への支援や、利用団体同士の交流を促すなど、より一層施設の活性化に努めていただきたい。	《自主事業について》 ・全国的に類似施設がない中、独自の取り組みを行っていることは大いに評価できる。 《KIITO:300について》 ・コロナ禍という厳しい状況での開設にもかかわらず積極的な運営ができています。 ・KIITO内で初めて一般市民に広く開かれたスペースなので、所管課でも重要性を認識し、利用者数、社会貢献支援に係る相談内容、利用者の満足度などの詳細も把握しておくようにしてほしい。 《認知度について》 ・一般市民にKIITOがあまり知られていないという課題があるが、ウォーターフロント開発、図書館仮移転をチャンスと捉え、認知度向上に取り組んでもらいたい。 ・具体的には、300の活動などのアウトリーチを積極的に実施してほしい。 ・また、セミナー等の会場としてKIITOを使用してもらおう仕掛けを作り、KIITOに足を運んでもらうきっかけにしてほしい。 《HPIについて》 ・KIITOを知らない方がHPを見たときに、どのようにKIITOをできるのかがわかりにくい。初見の方向性にも、HPの内容を工夫してほしい。 《管理体制について》 ・チェックリストの「一部不適」事項(「修繕時の見積もり合わせ等の実施ができていない」)が昨年度に引き続き改善されていない。形骸的なチェックリストとならないよう、本当に守るべき項目であれば、きちんと対応する必要がある。 ・財務面では、資金規模が大きいのを考慮し、会計監査の実施を検討してほしい。 ・全体としての業務統制・管理の見える化と実効化を目指し、ガバナンス構造を見直ししてほしい。また、組織構成については外からわかりにくい部分があるため、HP等での開示をしてほしい。 ・共同事業体として、企画部門と施設管理部門のポテンシャルを活かし、施設利用者の満足度を上げ、価値を生み出すようなスペースの活用方法と併せて収入改善に向けての取り組みを進めてほしい。
2管理運営内容 (2)利用状況 ①施設利用状況	①~1KIITO:300[こどもの創造的学びに関する事業] こどもの創造性を育む場の常設、こどもの創造性を育むプログラムを実施する個人・団体等への場所の提供・支援を行う。 ・どのような運営を行い、どのような成果があったか、下記(1)(2)の事項を含めて記載すること。 (1)多くのこどもがKIITO:300を繰り返し利用、参加したくなるよう、どのような工夫を行ったか。 (2)神戸市の創造的学び「プラットフォーム」として、さまざまな個人・団体等がこどもの創造性を育むプログラムを実施できるよう、実施支援、事業者間交流を支援する。具体的どのような支援を行ったか。 ※自主事業での実施プログラムについては、⑩の欄に記載すること。	常設プログラムとして、自由に工作できる素材の提供やスタッフによる工作のサポート、創造性を育むボードゲーム体験の提供を行った。満足度に関して「非常に満足している」が68%、「満足している」が32%という結果という非常に高い評価を得た。スタッフには、市内児童館の館長経験者を雇用することで、上記に対して適切なサポートを実施できた。 ワークショップ等の企画においては、図画工作とは異なる創造性の涵養という視点を重視し、気軽に参加できる単発のプログラムから複数回を通して学びを深めるプログラム、市民を講師に迎えたプログラムからアンツクスやVIVITAといった企業と連携したプログラム開発・実施まで、多様なプログラムの集積と提供を果たした。 特に、企業や団体が行う創造教育プログラムの開発を協働には注力し、実践した。株式会社アシックスとの事業「シューズデザイナーになって、チームで速く走る靴をつくろう」では、子どもたちは座学、身体を使った運動、モックアップの製作から、工場での製作(オンラインでの見学)、発表会といった一連の「ものづくりのデザイン」のプロセスを学んだ。VIVIWARE株式会社との事業では、同社の開発したVIVIWARE Cellを活用して直感的なプログラミングを学びつつ、アイデアの具体化やプロトタイプینگを実践した。それらは、KIITO:300における企業や団体の創造教育プログラム開発支援でもあるだけでなく、市民に幅広く、また新規性のある神戸ならではの創造教育プログラムの提供の機会にもなった。 また、KIITO:300で実施した「ユメエ。」プログラムに関しては、センターでの実施を経て神戸市立道場小学校4年生の総合的な学習の時間において導入され、公教育への展開(アウトリーチ)を果たした。 技術や知見をもち、創造教育の推進に関心がある個人を講師に迎えたワークショップも開催し、地域人材の発掘と活用も実現した。視察等に来た団体の活動概要が創造教育等と親和性の高い場合には積極的な利用を案内し、多様なプログラムの集積と事業者間の交流を促進した。また、こどもの創造性を育む団体活動助成対象団体には、全ての団体においてKIITO:300の会場利用があり、広報支援を含めたサポートを実施した。また、各探択団体で情報共有を行うことで交流を促進した。	(1)常設プログラムについては、自由工作やボードゲーム体験の使用状況を見ながら試行錯誤を行うことで、徐々に利用者が増え満足度が高いプログラムとなった。一時期毎週利用して継続的に創作活動を行う子どもが出るなど、KIITO:300が目指す子どもたちの創造性育成に寄与する結果に繋がったと考えている。 課題として、利用者層が当初想定していた小学3年~中学3年生よりも、保護者同伴の未就学児~小学1年生が多く結果となった。令和4年度には図書館が開設し、利用者層の変化や、利用者層が見込まれる場の利活用に向けて取り組んでほしい。 (2)ワークショップ企画においては、多様なプログラムの実施・集積を行った。特に、企業や団体が行う創造教育プログラムの開発への積極的な協力により、市民への創造教育プログラムの提供の機会を作ったことや、「ユメエ。」プログラムが公教育へのアウトリーチ展開も果たしたことについて、高く評価できる。 ・また、こどもの創造性を育む団体活動助成対象の団体に積極的な支援を行い、会場使用の実績につながった。 ・今後、助成対象以外の団体についても、KIITOでの様々な活動の実施や団体間の交流が行われるよう積極的に働きかけていただきたい。また、自主事業以外のKIITO:300実施プログラムが市内各地で実施できるよう後方支援等、市内の子どもたちの創造教育に尽力いただきたい。	
2管理運営内容 (2)利用状況 ②その他利用状況	①~2KIITO:300[社会貢献活動の支援事業] ・市民が社会貢献活動に意欲的に取り組めるような支援や仕組みづくりを行う拠点として、どのような運営を行ったか、個人や団体への具体的な支援事例や、仕組みづくりの内容を含めて記載すること。	既に活動している、もしくは活動を始めたいという思いを持つ個人や団体に対しては、「地域活動、社会貢献活動についての相談業務」や、情報発信のためのレクチャーと課題や悩みを共有して交流と連携を深める「地域課題解決+クリエイティブ ミーティング」、市民が活動に関わるきっかけを提供するための「地域活動、社会貢献活動についてのリレートを」、社会貢献活動や地域活動を行っている個人や団体をプレゼンターに迎えて活動を発信し、また交流を図る「300秒プレゼンテーション交流会」など、活動主体の支援のみならず、市民が活動に取り組むきっかけにもなるプログラムを空間の開設前から通年で実施した。	・プログラムとして新しい視点の発信や社会貢献活動へのきっかけづくりは、効果的に行われており、幅広い参加者に利用してもらえている。 ・今後は、プログラムの実施以外にも、常時社会貢献活動の交流拠点となるような仕組みづくりも積極的に取り入れてもらいたい。	
-	②創造的活動の支援について ・①以外の事業において、センターで創造的活動を行うおとする多様な人材、団体等に対して、どのような支援を行ったか、具体的な事例を含めて記載すること。 ※入居者への支援については、⑦の欄に記載すること。	・近隣施設のリサーチ及び、阪急阪神ホールディングスグループのネットワークを活かした施設との連携でノウハウを習得し、利用者への事前説明、見学対応を進化することで、レンタルスペースのサービス向上につながった。また、レンタル利用者が増えるイベントについても、希望があれば、ウェブサイトへの掲載やチラシの配架、ポスター掲示などの広報サポートを積極的に行った。 ・KIITOホールとキヤラームについては、ダンスや音楽イベント、記者会見、展示会、学会、販売会など様々な大規模イベントで利用されているが、3月に開催した「イベントジャパン株式会社「サポアフェール」」ではこれまでになく様々な条件をクリアすることで非日常な空間として利用され、期間中、全国から約3,300名のお客様にセンターの魅力伝えることができた。	・レンタルスペース利用者が主催するイベントの実施や広報のサポートを積極的に行うことで、様々な団体の創造的活動を、多くの市民に周知することができた。 ・今後、センターで創造的活動を行うおとする団体等の企画内容の充実や専門家の紹介などについても、積極的に支援するよう努めていただきたい。	
-	③都心・ウォーターフロントエリアの活性化 ・立地特性を生かし、周辺施設とどのような協働を行っているか。 ・2階三宮図書館仮移転に向けて、KIITOと図書館が相乗効果を生み出すため、どのような取り組みを行ったのか。また、今後どのような展開を検討しているのか。	KIITO:300開設記念パネルディスカッションで提起された、こども本の森 神戸、URBAN PICNIC(東遊園地)、神戸市立三宮図書館、デザイン・クリエイティブセンター神戸によるフラワーロード一帯の活性化と文化形成を目的にした連携は、「さんぽみや」という名前で「学びのエリアデザイン」をキーワードにした具体的なプログラムに結実している。 また、三宮図書館移転に向けては、図書館や文化芸術施設といった公共空間のもつ社会的な役割を考える連続トークイベントを実施し、移転からの協働の可能性や展開を市民と共に考えた。 ウォーターフロントエリアの活性化に向けては、株式会社神戸ウォーターフロント開発機構に協力し、「新港西地区まちのビジョンワークショップ」への参加、ワークショップ会場の提供(KIITO:300)も継続的に行っている。また、Port Loop利用促進部会への入会やPort Loopリーフレットへのセンターの広告掲載により、施設の認知向上と周辺エリアとの連携も推進している。	・周辺施設や三宮図書館との連携等を具体的な取り組みにつなげ、相乗効果を生み出している点は評価できる。 ・課題として、ウォーターフロントエリアの開発が進む中、十分な機能見直しとされていないスペース等、施設の活用については不十分などところがあると考えられるため、今後、エリアマネジメントの視点も踏まえ、KIITOとして必要な役割・機能を検討し、エリア全体のにきわい割出や回遊性向上につなげていただきたい。	
2管理運営内容 (1)管理実施状況 ③そのほかの業務	④創造的活動に係る情報の発信・ネットワークの構築を図るための取り組み センターで行われる創造的活動を広く発信し、多くの市民参加を促進するため、どのような工夫を行ったか。	プレスリリース配信、センターのWEBサイト運用、メールマガジン配信、フライヤーやポスターでの周知、SNSの戦略的な活用を柱に情報発信を行った。開催においては感染症拡大に係る社会情勢を鑑み、適切な方法(オンライン等)を行うことで、神戸市外からの参加者の獲得にもつながった。 2021年12月、2022年1月にKIITOで開催した「ファーマーズマーケット」では、双方のSNS(Instagram、ツイッターなど)で発信するとともに相互でリツイートするなどして広報発信を高めたことで、回数を重ねることに来館者数が増え、7回の開催でスタッフ含め、のべ4,765人が参加した。また、ファーマーズマーケット開催でセンターへ初めて訪れた来館者が、その後、クリエイティブラウンジの利用やレンタルスペースの問い合わせなどもあり、新たな層の獲得にもつながっている。	・様々な媒体での広報や「ファーマーズマーケット」への協力等の効果により、SNSフォローやリピーター等を着実に増やすことができています。今後も積極的に活用して頂きたい。 ・一方、ファーマーズマーケット来訪者へ一定の効果は見られたが、KIITOを初めて知る層に向けた来館時のアプローチやHPの掲載情報については、分かりやすい案内がなされていないなど課題が残る。三宮図書館仮移転等に向けて、初めての来館者にKIITOの取組を知って頂くため、更に効果的な広報に努めていただきたい。	
-	⑤共用部(クリエイティブラウンジ、プロジェクトスペース等)の活用について 施設の魅力を高められるよう、どのような取り組みを行ったか。	・各イベントエントランス、西エントランスには、コロナ対策のため、アルコール消毒とサーモグラフィと人工知能(AI)による非接触体温計測を設置し、来館者の安全・安心に努めた。 ・図工プロジェクトスペースは入居者を主な対象とするミーティングスペース、休憩スペースとして、特設ウェブサイトでの予約制で運用した。会議やプレゼンテーション時に使用するプロジェクトモニターなどをつかいたいという要望に対応してコンセントの増設や薄暗いスペースにはスポットライトを追加するなどより利便性を高めることで、利用実績は730件(前年度501件)となった。 ・クリエイティブラウンジにおいてはセンター全体のロビー的機能を果たすと共に、30メートルのカウンターは十分な照度の確保、電源の設置などよりモニターや自管等に活用され好評を得ている。クリエイティブラウンジの設置の効果としては、イベント・目的型の来館に留まらない「サードプレイス」としての一面も創出できたと考えられる。 ・弱わせて、インフォメーション&ショップ、ライブラリ、プロジェクトアークタイプである+クリエイティブスタジオでは、来館者にセンターの取り組みや魅力を積極的に伝えるよう管理運営、メンテナンスを行った。 ・図書館移転に向けて、バリアフリー化された動線での誘導、及びセンター全体のロビー的機能を果たすクリエイティブラウンジへの誘導を目的とし、視認性の向上を目指して改修整備にてメインエントランスにキャノピーを設置した。このことで、全体の来館者数に対するメインエントランスからの来館者数割合は、従前の平均30%前後から40%まで上昇した。	・クリエイティブラウンジ入居者向けのプロジェクトスペースについては、入居者の具体的な要望への対応を実施するなど、サービス向上に努め、施設の魅力向上につなげることができた。 ・クリエイティブラウンジについても、魅力的な空間として令和3年度に整備を行ったから着実に利用者を増やしており、施設のにぎわい・交流創出に寄与することができている。 ・今後、+クリエイティブスタジオについては、令和3年度のメインエントランス整備による来館者の動線変更に伴い、機能の見直しや情報の更新等を検討していきたい。他の共用部についても、来館者の交流が生まれ、滞留時間をのばす等、施設の魅力を高められるよう積極的に活用いただきたい。	
-	⑥クリエイティブラボの運営 どのような取り組みを行ったのか、下記(1)(2)の事項を含めて記載すること。 (1)クリエイティブラボ入居者の満足度を上げるため、どのような工夫を行ったか。 (2)センター及び入居者双方の価値を高めるため、どのような連携を行ったか。	・クリエイティブラボのサービス向上のため、専任スタッフ1名を配置 ・オフィス訪問での対面でのコミュニケーションとメンバーリストでの情報発信の強化 ・クリエイティブラボを3室追加で公募したところ、入居者からの口コミもあり、入居率は100%を確保 ・鑑画事業部門とフロアマネジメント部門がより連携して「オープンKIITO 2022」を開催した	・クリエイティブラボ入居者との密なコミュニケーションや丁寧な対応等のサービス向上に努めた結果、アンケートでの高評価や入居率の高さにつながった。 ・「オープンKIITO」では、一部ラボを開放して来館者に入居者の活動を知ってもらう機会となったが、センター及びラボ入居者双方の価値を高めることができるよう、更なる連携を進めていただきたい。	

関連データの掲載箇所 (評価票本体)	評価項目 ※アンケート結果に対して行った対応がある場合は、あわせて記載ください。	指定管理者の自己評価 ※要点を踏まえて簡潔に書くこと	施設所管課の評価	評価委員会の意見
-	<p>⑦レンタル施設・駐車場等の満足度及び利用率向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KIITOホール、セミナー・ワークショップスペース、ギャラリー、駐車場等、利用者の満足度向上及び利用率の向上のため、どのような取り組みを行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人営業による神戸エリアでのリレーションと認知向上 ・週末・休館日スタッフの配置と見学対応の深化 ・令和3年7月にオンラインでのレンタル予約・決済機能を有したウェブサイトの整備し、利用者利便性向上に努めた。運用の中で、改善点などをピックアップし、令和4年度ではより貸館に対応したシステムへのアップデートを検討している。 ・新たに有料の一時利用駐車場(13区画)を整備 ・密着駐車を防ぐために、駐車場入口に「契約区画」「一時利用区画」の表示を設置 ・令和3年度に3度実施したクリエイティブラボの公募については、通常のプレスリリースと共に、SNSやYouTube媒体で積極的に施設の魅力を伝え、入居しているクリエイティブラボからの口コミ、紹介もあり入居率100%を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペースについては、積極的な営業や情報発信、休館日の電話対応、オンライン予約システム導入等の取り組みにより、利用率・満足度の向上につなげ、利用者の利便性を大きく向上させたことは高く評価できる。 ・新たに整備した一時利用駐車場については、契約区画との違いが一般利用者にはわかりにくいという課題に対して、表示方法などを工夫するなど、自主的な対応を実施できている。 ・上記の課題に加え、KIITO来館者以外で見られる車の駐車が来館者の駐車需要を圧迫しているという課題もあるため、引き続き、所管課と連携して対応を検討していただきたい。 	
-	<p>⑧上記項目以外において、KIITO条例第1条に定める設置目的を達成するため、具体的にどのような運営・事業を行ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業関連は本項目にて記載 ・特に子どもの創造的学びに関する事業については必ず記入を。 	<p>〈自主事業のうち、センターのリソースや空間、ネットワークを特に活かした事業(一部)〉</p> <p>生糸検査所時代の家具から紐解く、神戸家具の歴史と文化 神戸洋家具のものづくりの歴史と検査所時代の家具との関連など、センターならではのプログラムとして開催することができた(トークの内容等を編集した報告冊子も好評を得ている)。</p> <p>エラ・ホチルド×中野信子×森山未来「Dance of Death(仮称)」 新作公演のクリエイションに協力し、また市民にも公開した「制作のためのダイアログ」や成果発表としての「ショウイング」も実施した。 制作された作品は「FORMULA」として2022年10月の東京を皮切りに、仙台、福岡、大阪、名古屋、高知で公演が予定されている。</p> <p>デザイン及び芸術文化などの新しい価値の創造に関わる分野の交流協力のための協定 KIITO:300開設に合わせて秋田市文化創造館と協定の締結を行い、共通する創造性を通した社会課題解決、相違点としての地域の特性などを踏まえた今後の連携や交流が期待される。</p> <p>〈令和3年度、及び中長期にわたる人材育成(一部)〉</p> <p>キャンパーの組成 「KIITO:300キャンプ」において実施する子どもの創造性を育む活動におけるデザインやアートのワークショップやイベントの運営サポートをするボランティアスタッフ「キャンパー」を組成し、教育プログラムへの主体的な参画を進めた。初年度で116人の登録があり、延べ119名が41の活動をサポートした。あわせて、設立時から継続している、センターのさまざまなイベント・プログラムの運営を補助するボランティアスタッフ組織「KIITOサポーター」についても運用を継続し、累積の登録者数は927人となっている。</p> <p>インターンの受け入れ 継続的に行っている大学生を中心としたインターン受け入れの実績は9人である。そのうちひとり「ちびっこうべ」参加が契機で進路を建築関係(高専)に決定し、センターでインターンを実施した。このことは、長期的に運営を行うことでなされる創造人材育成の成果のひとつであると考ええる。</p>	<p>〈自主事業のうち、センターのリソースや空間、ネットワークを特に活かした事業(一部)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として、センターならではの創造的なプログラムを積極的に実施することが、KIITO独自の価値向上にもつながっている。 ・他都市施設との連携についても積極的に行っており、今度、相乗効果をもたらすような活動を期待したい。 <p>〈令和3年度、及び中長期にわたる人材育成(一部)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャンパー」「KIITOサポーター」など、幅広い世代の市民がKIITOの活動に参画することにより、キャンパー、サポーター自身の人材育成につなげることができた。今後のKIITOを支える人財として、活躍の場を広げていただきたい。 ・子どもの頃のイベント参加が現在の進路選択につながっている事例もあり、長期的な人材育成の視点でも評価することができる。 	